

「まちづくり・未来ワークショップ」かわら版

光市では、平成22年度と23年度で、まちづくりの最上位の計画である「光市総合計画後期基本計画」や「都市計画マスタープラン」などの策定作業を進めています。

策定にあたり、多くの市民の皆さんと未来のまちづくりをともに考え、さまざまな夢やアイデアを十分に反映できる計画づくりを行うため、「まちづくり・未来ワークショップ」を開催しています。第1回と第2回のワークショップの様子をお知らせします。

－第1回ワークショップの流れ－

<テーマ>

まちの弱みと強みを出し合おう

【グループワークの内容】

前半：まちの弱みを出し合おう：テーマ 「まちの弱み」

- ・今、困っていること
- ・将来、困りそうなこと

後半：まちの強みを出し合おう：テーマ 「まちの強み」

- ・光市が優れていると思う点
- ・改善された、よくなったと思う点

【日時】平成22年10月23日（土） 午前9時から正午まで

【場所】光市総合福祉センター「あいぱーく光」

－第2回ワークショップの流れ－

<テーマ>

光市の重点施策と役割分担を提案しよう

【グループワークの内容】

前半：重点施策・取組を提案しよう：テーマ 「取組の提案」

- ・弱みを改善する取組を提案
- ・強みを活かした取組を提案

後半：取組の役割分担を考えよう：テーマ 「取組の役割分担」

- ・改善施策の役割分担
- ・成長施策の役割分担
- ・5年後のまちの姿を提案

【日時】平成22年11月13日（土） 午後1時から午後4時まで

【場所】光市総合福祉センター「あいぱーく光」

4つのグループに分かれて、「まちの弱み」「まちの強み」について話し合い、各グループからたくさん意見が出されました。

テーマ：誰もがいきいきと健やかに暮らせる光市

福祉・医療対策など

まちの弱み

■今、困っていること

- ・心のバリア・気持ちの通じ合いが必要
- ・障害者や認知症の方への助け合いが必要
- ・子育ての悩みや子どもの教育への対応
- ・ボランティア活動の人数不足 など

■将来、困りそうなこと

- ・高齢化により地域での生活が不安
- ・個人医（開業医）の減少、予防対策への不安
- ・相互協力の人口の減少
- ・若者の減少による子育てへの不安 など



まちの強み

■光市が優れていると思う点

- ・あいさつ運動の取組みが充実
- ・子育てしやすい環境（病院・保育所など）
- ・海、山、川周辺のウォーキングコースが多い
- ・公民館活動やボランティア活動が盛ん など

■改善された、よくなったと思う点

- ・小中学児童のあいさつがよくなった
- ・市民活動の連携がとれるようになってきた
- ・大和と光の食材の交流ができるようになった
- ・健康管理の相談ができるようになった など



テーマ：地域や経済に元気があふれる光市

産業・地域活性化など

まちの弱み

■今、困っていること

- ・光駅前での活性化が問題
- ・市外（他県）からの観光客が少ない
- ・農業、漁業の後継者不足
- ・気軽に飲食できる店が少ない など

■将来、困りそうなこと

- ・限界集落の今後の動向が不安
- ・就職難のため若者が減少する
- ・健康志向の上でも地産地消の充実が必要
- ・公民館活動が減退することへの不安 など



まちの強み

■光市が優れていると思う点

- ・二大企業のおかげで雇用がある
- ・中心がないのでそれぞれの地域が頑張っている
- ・人材が豊富で知識豊かな中高年が多い
- ・豊かな人間性はふるさとの誇り など

■改善された、よくなったと思う点

- ・地域をまたがる活動が少しやりやすくなった
- ・安全・防災活動（自主防災組織）が充実
- ・虹ヶ浜のライトアップが評価されてきた
- ・冠山総合公園の更なる充実 など



テーマ:安全・安心で潤いに満ちた光市

環境・安全対策など

まちの弱み

■今、困っていること

- ・虹ヶ浜の松林を守り育てること
- ・樹木の管理や里山の竹の繁茂
- ・ゴミの不法投棄、ポイ捨て
- ・地震・台風などの災害対策 など

■将来、困りそうなこと

- ・里山を守れるか不安
- ・住み続けたい地域になっているか不安
- ・公民館、集会所等のバリアフリー化が必要
- ・空家、空地が増えることへの不安 など



まちの強み

■光市が優れていると思う点

- ・リサイクル率が高い
- ・虹ヶ浜～室積の白砂青松の海岸の美しさ
- ・里山、田園、街、川、海のバランスがよい
- ・市内一斉清掃、クリーン大作戦 など

■改善された、よくなったと思う点

- ・緑のカーテンの取組み
- ・石城山の神籠石文化財保護の取組み
- ・交通安全意識が高まった
- ・下水道の普及率が高い など



テーマ:心豊かでたくましい人を育む光市

子育て・教育・文化など

まちの弱み

■今、困っていること

- ・子ども達の遊ぶ場所が少ない
- ・青少年施設がない
- ・親、家庭（家族）のあり方の教育が必要
- ・子育て関係機関のネットワークがない など

■将来、困りそうなこと

- ・若者が住みつかない、活力がなくなる
- ・教育施設（高校等）が減少することへの不安
- ・人口減少、子どもの減少
- ・今以上に近所づきあいがうすれる など



まちの強み

■光市が優れていると思う点

- ・学校の環境がよい
- ・市がまとまりやすい大きさである
- ・古くから伝わるお祭りを大事にしている
- ・公民館活動、PTA活動が活発である など

■改善された、よくなったと思う点

- ・子どもたちの挨拶
- ・サンホーム、あいぱーくなど公共施設が充実
- ・病後児保育の機能が強化
- ・地域や団体などに開かれた学校 など



4つのグループに分かれて、「弱みを改善する取組」「強みを活かした取組」について提案し、それぞれの役割分担を話し合いました。

まちづくり・未来ワークショップ

テーマ：誰もがいきいきと健やかに暮らせる光市

福祉・医療対策など

改善施策

高齢者の買い物支援

－役割分担－

■市民

- ・近所で声かけをして買物に出かける
- ・となり組の復活（井戸端つきあい） など

■行政

- ・公共交通の買物が出来るルートと料金の低減
- ・あいぱーく光の活用、情報と人とのつながりなど

■企業

- ・買物タクシー
- ・商品の移動販売 など

■その他

- ・NPOなどによる買物代行
- ・地域ビジネスによる生産者の配達・直販 など

－5年後のまちの姿－

誰もが買い物に困らないまち

成長施策

自然環境を活かした健康増進のまちづくり

－役割分担－

■市民

- ・イベントを企画し、積極的に参加
- ・グリーンツーリズムの宿
- ・ウォーキング・森林浴体験の場づくり など

■行政

- ・観光を基軸とした体験ツアー（農業・漁業）
- ・空き施設の情報公開・施設の開放
- ・市民農園の造成、ピオトープの造成
- ・自然観察・植物・昆虫のマップづくり など

■企業

- ・地産地消を効率よく地元消費者へ提供できるシステム など

－5年後のまちの姿－

うまいもの食べて、生きがいを感じて、楽しく、自然を満喫して、健康に暮らせるまち

テーマ：地域や経済に元気があふれる光市

産業・地域活性化など

改善施策

企業をまきこんだ地域の活性化とつながり強化

－役割分担－

■市民

- ・各自治会の活性化
- ・なるべく地元商店を利用する
- ・公民館活動イベント（コミュニティ）への参加
- ・活動のお知らせ方を工夫する など

■行政

- ・地域自治（公民館）の予算
- ・地場産業の誘致、中小企業の育成 など

■企業

- ・人材の採用・雇用の拡大
- ・企業内での地域参加人材の育成
- ・地域の祭りに参加して欲しい など

－5年後のまちの姿－

地域がそれぞれの顔をもってつながりあうまち

成長施策

豊かな自然環境・地域性を生かした観光立市

－役割分担－

■市民

- ・地域住民が地元イベントに積極的に参加する
- ・まちを汚さない など

■行政

- ・観光大使を作り、全国アピール
- ・観光地にバス駐車場を準備する
- ・一日遊べる充実した観光マップの作成
- ・道の駅を誘致・作る
- ・虹ヶ浜海水浴場、ライトアップを続ける など

■企業

- ・気軽に工場見学を受入れる体制をつくる
- ・花火大会のバスツアー など

－5年後のまちの姿－

観光倍増！

—第2回のまとめ—

テーマ:安全・安心で潤いに満ちた光市

環境・安全対策など

改善施策

くうねるところにすむところ

—役割分担—

■市民

- ・地下ワークショップへの参加
- ・組織に頼らない意識・知恵と工夫と団結力 など

■行政

- ・地下ワークショップの支援
- ・コミュニティへ権限と予算
- ・買い物・ぐるりん・病院の目的別バス など

■企業

- ・地域活動・行事への理解協力支援 など

■その他

- ・先進地域との連携 など

—5年後のまちの姿—

市民と行政の連携がうまく行っている
光かがやく人と地下、自助・共助・公助など

成長施策

地域コミュニティ・自然コミュニティ

—役割分担—

■市民

- ・地域主導型クリーン大作戦
- ・景観に配慮した活動を進める
- ・自然敬愛都市宣言を再認識 など

■行政

- ・行政のタテ割り解消
- ・小中学校と公民館の利用を促進 など

■企業

- ・自然地域活動に積極的な取り組み参加
- ・休耕田、荒地にPR札を立て整備 など

■その他

- ・愛市精神の啓発 など

—5年後のまちの姿—

市民の意識が向上している（共存・共栄）
地域イベント中心のクリーン作戦

テーマ:心豊かでたくましい人を育む光市

子育て・教育・文化など

改善施策

人間関係をつくる為の公民館・教育施設の活用方策

—役割分担—

■市民

- ・土曜塾や昔の遊び塾の開催
- ・光まつりで各公民館のPR
- ・子ども参加のイベント企画・運営 など

■行政

- ・施設の利用手続きを簡単にする
- ・牛島で交流会・体験学習
- ・交流遠足の復活（親も地域の人と一緒に）
- ・公民館行事の情報公開（頻繁に） など

■企業

- ・中学生への体験学習の推進
- ・見学会の実施 など

—5年後のまちの姿—

町全体がお友達
子供のことを、未来をもっと考えるようになる

成長施策

“光の宝”人材の活用・交流

—役割分担—

■市民

- ・市民大学校をつくる
- ・ちょこっとスポーツ少年団 など

■行政

- ・人材バンクのPR、人材バンク登録制度
- ・オープンスクール（小・中・高校での文化活動）
- ・学校の教育活動と連携
- ・中学生リーダーの活動の発信 など

■企業

- ・職場体験の取り組み、出前講座の取り組み
- ・企業の廃水・廃気の更なる浄化努力 など

—5年後のまちの姿—

生きがい・楽しみを持って生活している
市民みんなが先生

まちづくり・未来ワークショップの今後の予定

第3回と第4回（最終回）は、「都市計画マスタープラン」及び「緑の基本計画」の策定にあたって、以下の内容でワークショップを開催する予定です。

ワークショップの様子は市ホームページやかわら版でお知らせします。

第3回 ～「まちの問題・お宝マップ」をつくろう～

前半：重要カード選び

後半：「まちの問題・お宝マップ」をつくろう

【日時】平成23年1月22日（土） 午後1時から午後4時まで

【場所】光市総合福祉センター「あいぱーく光」

終了しました

第4回 ～まち育て作戦会議～

テーマ別「まち育て作戦会議」による提案

【日時】平成23年2月19日（土） 午後1時から午後4時まで

【場所】光市総合福祉センター「あいぱーく光」

傍聴できます

「地域別」のワークショップのお知らせ

第1回から第4回の「まちづくり・未来ワークショップ」の結果を踏まえ、市内を東部地域、西部地域、南部地域、北部地域の4つの地域ごとの「地域別」のワークショップを平成23年4月から開催します。

今後、参加者を募集する予定です。多くの方の応募をお待ちしています。詳細は、「広報ひかり」2月10日号をご覧ください。

参加者
募集予定



—発行—

光市 政策企画部 企画広報課

Tel (0833) 72-1400 (代表) Fax (0833) 72-1436

Mail kikaku@city.hikari.lg.jp